

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 リズム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7769 URL <https://www.rhythm.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 博美
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山崎 勝彦 (TEL) 048-643-7241
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	19,514	△13.0	58	482.4	292	102.4	△1,589	—
2020年3月期第3四半期	22,419	△2.6	10	△98.2	144	△79.5	△135	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,081百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △330百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△192.41	—
2020年3月期第3四半期	△16.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	34,032	23,640	69.4
2020年3月期	37,117	25,970	69.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 23,612百万円 2020年3月期 25,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	△11.4	0	—	250	—	△1,750	—	△211.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	8,385,093株	2020年3月期	8,385,093株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	125,461株	2020年3月期	124,682株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	8,260,115株	2020年3月期3Q	8,261,393株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日）における国内及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、経済活動が徐々に再開され、一部持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症が世界的に再拡大しつつあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの売上高につきましては、第2四半期連結累計期間より国内の消費活動・生産活動が再開され始め、主力三事業ともに受注は回復基調にあります。新型コロナウイルス感染症による景気減速の影響が大きく、全体では前年同期と比較して減収となりました。

営業利益につきましては、主力三事業の受注回復に加え、2020年9月に実施した早期退職による固定費削減効果もあり、全体では前年同期と比較して増益となりました。

これらの結果、親会社に帰属する四半期純損失は、15億89百万円（前年同期は1億35百万円の純損失）となりました。

なお、2021年3月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比については、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えて算出しております。また、機能別組織への移行に伴う当会計年度における報告セグメント区分の変更は行いません。

セグメント別の経営成績については、次の通りです。

(単位：百万円)

		2020年3月期 第3四半期 連結累計期間	2021年3月期 第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	時計事業	6,314	6,449	134	2.1%
	接続端子事業	6,881	5,543	△1,337	△19.4%
	プレジジョン事業	8,964	6,991	△1,972	△22.0%
	その他	259	528	269	104.1%
	計	22,419	19,514	△2,905	△13.0%
営業利益	時計事業	△309	238	547	—
	接続端子事業	536	200	△335	△62.6%
	プレジジョン事業	123	△58	△181	—
	その他	43	89	46	107.1%
	調整額	△383	△410	△26	—
	計	10	58	48	482.4%
経常利益		144	292	148	102.4%
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)		△135	△1,589	△1,453	—

①時計事業

国内では、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、ホームセンターやインターネット販売、防災行政ラジオの販売が好調に推移し、全体では前年同期と比較して増収となりました。利益面につきましては、原価率改善、販管費削減効果により、前年同期と比較して増益となりました。

海外では、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、中国・香港・台湾はじめとするアジア地区、米国、中東においては売上高の回復傾向がみられる一方、一部地域においては依然として低迷が続いており、全体では前年同期と比較して減収となりました。利益面につきましては、製販両面での固定費削減、原価率改善が進み、前年同期と比較して増益となりました。

これらの結果、時計事業全体では前年同期と比較して増収増益となりました。

②接続端子事業

国内では、車載・家電関連部品の受注が回復基調にあり、全体では前年同期と比較して増収となりました。利益面につきましては、製造原価、販管費の改善により前年同期と比較して増益となりました。

海外では、中国・東南アジアの各拠点において車載関連部品の受注が回復基調にありましたが、第1四半期からの受注落ち込みを取り戻すまでには至らず、全体では前年同期と比較して減収減益となりました。

これらの結果、接続端子事業全体では前年同期と比較して減収減益となりました。

③プレジジョン事業

国内では、工作機械部品の受注は回復基調にあり、また固定費等の費用削減も一定の効果がみられましたが、新型コロナウイルス感染症による新規案件の立ち上げ遅れの影響が大きく、全体では前年同期と比較して減収、営業損失となりました。

海外では、ベトナムの事務機器関連部品の受注回復がみられましたが、全体では前年同期と比較して減収減益となりました。

これらの結果、プレジジョン事業全体では前年同期と比較して減収、営業損失となりました。

④その他

新型コロナウイルス感染症が再拡大する中、体温計、消毒液等の衛生商品の販売が好調に推移し、その他事業全体では前年同期と比較して増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は340億32百万円となり、前連結会計年度末371億17百万円に比べて30億84百万円減少しました。流動資産は、たな卸資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ20億61百万円減少しました。固定資産は、のれんの減少等により、前連結会計年度末に比べ10億23百万円減少しました。

(負債)

負債合計は103億92百万円となり、前連結会計年度末111億47百万円に比べ7億54百万円減少しました。流動負債は、1年内償還予定の社債の減少等により前連結会計年度末に比べ22億96百万円減少しました。固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ15億41百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は、236億40百万円となりました。利益剰余金の減少等により前連結会計年度末259億70百万円に比べ23億30百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を勘案し、2020年9月11日に公表した通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「繰延税金資産の取り崩し及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,647	9,029
受取手形及び売掛金	4,340	3,995
電子記録債権	1,296	1,353
たな卸資産	6,909	5,919
その他	576	410
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	22,767	20,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,452	5,061
その他（純額）	4,470	4,367
有形固定資産合計	9,922	9,428
無形固定資産		
のれん	915	643
その他	222	221
無形固定資産合計	1,138	865
投資その他の資産		
投資有価証券	1,715	1,677
その他	1,664	1,441
貸倒引当金	△90	△86
投資その他の資産合計	3,289	3,033
固定資産合計	14,350	13,326
資産合計	37,117	34,032
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,878	2,607
短期借入金	525	406
1年内返済予定の長期借入金	67	436
未払法人税等	146	40
賞与引当金	173	143
役員賞与引当金	8	—
1年内償還予定の社債	2,000	—
その他	1,207	1,077
流動負債合計	7,007	4,711
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	73	1,620
退職給付に係る負債	581	537
その他	484	523
固定負債合計	4,139	5,681
負債合計	11,147	10,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	7,584	7,584
利益剰余金	4,860	3,023
自己株式	△274	△275
株主資本合計	24,543	22,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	△20
為替換算調整勘定	1,287	834
退職給付に係る調整累計額	99	93
その他の包括利益累計額合計	1,400	907
非支配株主持分	26	27
純資産合計	25,970	23,640
負債純資産合計	37,117	34,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	22,419	19,514
売上原価	17,698	15,020
売上総利益	4,721	4,493
販売費及び一般管理費	4,711	4,434
営業利益	10	58
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	81	59
受取賃貸料	251	239
雇用調整助成金	—	103
その他	43	64
営業外収益合計	382	470
営業外費用		
支払利息	34	28
出向費用	85	50
賃貸費用	106	103
為替差損	7	21
その他	13	31
営業外費用合計	247	236
経常利益	144	292
特別利益		
固定資産売却益	5	33
投資有価証券売却益	53	—
特別利益合計	59	33
特別損失		
早期退職関連費用	—	1,501
固定資産処分損	49	15
固定資産売却損	1	—
減損損失	12	—
投資有価証券評価損	—	9
特別損失合計	63	1,526
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	140	△1,200
法人税、住民税及び事業税	214	134
過年度法人税等	—	59
法人税等調整額	62	195
法人税等合計	276	388
四半期純損失(△)	△135	△1,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△135	△1,589

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△135	△1,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	△33
為替換算調整勘定	△165	△453
退職給付に係る調整額	13	△5
その他の包括利益合計	△194	△492
四半期包括利益	△330	△2,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△330	△2,082
非支配株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジ ジョン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,314	6,881	8,964	22,160	259	22,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	4	45	63	489	552
計	6,327	6,886	9,010	22,223	748	22,972
セグメント利益又は損 失(△)	△309	536	123	350	43	393

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	350
「その他」の区分の利益	43
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△378
棚卸資産の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	10

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジ ジョン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,449	5,543	6,991	18,985	528	19,514
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	0	43	57	469	526
計	6,463	5,544	7,035	19,042	997	20,040
セグメント利益又は損 失(△)	238	200	△58	380	89	469

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	380
「その他」の区分の利益	89
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△415
棚卸資産の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	58

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメント変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「電子事業」は「プレジジョン事業」に統合しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に組み替えたものを表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症については今後の広がり方や収束時期等が依然として不透明なものの、2021年3月期の一定期間にわたり影響が継続することを前提に、当第3四半期連結累計期間の業績および今後の見通しと現時点で入手可能な情報に基づき、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。